

NEWS

Niigata University of Health and Welfare
Teaching Career Support Center

LETTER

CONTENTS

1. 巻頭言：「一隅を照らす」
2. 取組紹介①「学習ボランティア体験を語る会」
3. 取組紹介②「教員採用試験出願書類作成指導会」
4. 取組紹介③「合格者の声を聴く会」
5. おしらせ/今後の予定
6. あとがき



「一隅を照らす」

教職支援センター運営委員 森泉 哲也（健康栄養学科）



これは、私が卒業アルバムに好んで載せる言葉です。今回は、この言葉との出会いを紹介したいと思います。

私は本学にお世話になる前、東京で7年間過ごしました。上京の直前に妻を亡くしましたので、単身赴任でした。教員としては、児童生徒の成長に力を尽くすことに何よりの喜びを感じながら24年間公立学校に勤務しましたが、その後、次第に児童生徒から遠退く立場になり、最も離れたのが東京での勤務でした。東京に赴任した当初は無我夢中でしたが、次第に周りが見えてくると、自分の仕事が児童生徒の成長とは無関係な事のように思えて仕方ありませんでした。取り組むことの意義を感じられない激務ほど辛いものではありません。そんな時、上司が何気なく示してくださったのが「一隅を照らす」という言葉でした。

この言葉は、天台宗の開祖、最澄の言葉です。調べてみると、宗教上の意味としては「自分が輝くことで、周囲の人が輝ける」ということらしいのですが、当時の私は、「一隅：日の当たりにくい片隅での生活・仕事」であっても「照らす：真剣に取り組むことで価値がうまれる」と解釈することで、救われた思いがしたものです。

教職への「夢」や「理想」を掲げることは大切です。そして、その実現には、まずは目の前のこと（一隅）に真剣に取り組む（照らす）ことです。大事なものは「いま・ここ」です。それを全うできないようでは、「夢」を叶えることなど到底できません。

しかしながら、おそらく、教職の入り口にいる「いま」よりも、教職に就き忙殺される日々の中で「一隅を照らす」つまり「自分の居場所で精一杯に尽くす」ことの大切さに改めて気付くのではないのでしょうか。そして、「一隅を照らす」姿勢で教職に取り組むことで、必然的にその場その場で欠くことのできない教員になっていくはずですよ。結果、教職が自分の「生きがい」となり、当初は思いもよらなかった「本物の生きがい」を見出すことにも繋がるのだと思います。

私はすでに60代半ばを過ぎましたが、いくつになろうとも自分自身が輝き続け、周りを照らしてやろう… そんな気概で毎日を過ごしています。

学習ボランティア体験を語る会

2023年12月12日（火）に、「学習ボランティア体験を語る会（第2回）」を実施しました。3学科あわせて17名の学生が参加しました。まず、健康スポーツ学科の1年生2名が活動報告を行いました。そこでは、「各学校での学習ボランティアの様子」や「ボランティアを実施後、自身にどのような変化があったか」等について報告していただきました。その後、参加者4、5名でグループを作成し、グループワークを行いました。グループワークでは、参加者それぞれが行っている学習ボランティアで「困ったこと」や「悩み」等を語り合い、今後の活動の参考になったり、解決策を探るきっかけとなったようでした。今年度は2回開催し、1回目は主に経験豊富な4年生が報告を行っていました。今回の語る会を通して、ボランティア経験が少ない学生の皆さんが今後学習ボランティアに参加し、たくさんの学びや成長が得られることを期待しています。



教員採用試験出願書類作成指導会

2024年2月26日（月）に「教員採用試験出願書類作成指導会」を実施しました。講師は森光雄先生です。2年生から4年生まで約20名の学生が参加しました。指導会では、「教員採用試験で願書が大切な理由」「願書提出までの6つのステップ」「自己申告カード等の書き方のポイント・添削指導の流れ」についてご指導いただきました。指導の中で、①出願書類には面接で「聞かれないこと」を盛り込むこと、②出願書類の内容を必ず誰かに見てもらうこと、③出願書類の文字は丁寧に「見た目」も重視すること等のポイントが挙げられました。また、過去に教員採用試験を合格した卒業生の出願書類を例に、より詳細な情報提供がなされている印象でした。参加した学生の皆さんからも「自分がこれから出願書類の作成に向けて、今何をすれば良いのかが分かり、見通しを持つことができた」等の肯定的な意見がありました。学生の皆さんは、今後個別に出願書類の添削指導を受けていきます。来年度の教員採用試験に向けた準備が本格化してきました。1人でも多くの合格者が出るように祈っています。



合格者の声を聴く会

2023年12月20日（水）に、「合格者の声を聴く会」を実施しました。

今回、14名（健康栄養学科2名、健康スポーツ学科8名、看護学科4名）が参加し、合格者を代表して健康栄養学科（既卒生）1名、健康スポーツ学科2名（中学校・高等学校1名、小学校1名）、看護学科1名の方に登壇していただきました。登壇者より「教員を目指した理由・きっかけ」「どんな勉強をしたか」「勉強以外で行ってきたこと」等についてお話しいただきました。

合格者の皆さんの話から、共通する部分があると感じました。例えば、「早期から勉強を始める重要性」や「毎日短時間でも継続すること」、「過労は何回も繰り返すこと」等が皆さんが口をそろえてお話されていました。一方で、「リラックスの方法」や「勉強場所」等については、その人独自の方法が見られる項目もありました。こういったことは、今後教員採用試験を受験する方々にとって非常に有益な情報となりました。

また、参加者の皆さんからも「合格した方がどの時期から学習を行ってきたかが知れて参考になった」、「勉強方法をたくさん教えていただきとても参考になった」、「これまで現実味がなかったが、先輩からの実体験を聴くことができ、今何をやるべきかわかった」等の感想があり、非常に有意義な時間となりました。

全体会の様子



学科別懇談会の様子



お知らせ/今後の予定

▶ 個別相談・個別指導

予約制で随時受付中です。積極的にご利用ください。

▶ 東京アカデミー講師による
教員採用試験対策オンライン講座

3年生対象（1～4年生の受講可）
3月11日（月）、3月14日（木）、3月18日（月）、
3月21日（木）、3月25日（月）

※申込は終了しました

▶ 外部業者学内模擬試験

実施予定は次の通り。

会場：D204

3月29日（金） 東京アカデミー第3回模試

4月20日（土） 協同出版（予定）



あとがき

新潟医療福祉大学教職支援センターのニュースレターをご覧いただき、ありがとうございます。No.12では、日々の学生の様子がわかる活動が多く掲載されております。教職に関わる各授業や教職支援センターの各種取組・活動等も少しずつ元の姿に戻ってきました。常に化する社会や環境の中で、学びの機会を少しでも提供できるように、我々もさらなる努力や創意工夫を重ねていきたいと思っております。今後も教職支援センターの特色ある取組や本学学生、卒業生の様子を中心に様々な情報発信ができるように努めてまいります。

（健康スポーツ学科 高田大輔）



新潟医療福祉大学

教職支援センター ニュースレター
2024年2月29日発行

発行 新潟医療福祉大学 教職支援センター運営委員会
〒950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398番地

お問い合わせ

✉ E-mail : kyoshoku@nuhw.ac.jp

🌐 WEB : https://www.nuhw.ac.jp/teaching_career_support/



WEB

新潟医療福祉大学 教職支援センター

検索